

令和 8 年 度

戸 ヶ 崎 小 だ よ り 6 月 号



【学校教育目標】

かしこい子 ・ やさしい子 ・ たくましい子

【目指す学校像】

学びと笑顔、元気あふれる学校



児童数（6月1日時点）

1年35人 2年36人 3年40人

4年34人 5年42人 6年42人

合計229人

ぼくを探しに

三郷市立戸ヶ崎小学校長 西村 美紀

私の好きな絵本に、シェル・シルヴァスタインの『ビッグ・オーとの出会い（続・ぼくを探しに）』があります。小さなかけらが、自分にぴったり合う相手を探して旅をするお話です。短い絵本ですが、読み終えたあとに残る問いは多く、いろいろ考えさせられます。

自分に合う何かを探すこと。

こどもたちは、地域や年齢によって作られた集団の中で、毎日を過ごしています。それは、自分で選んだ仲間ではなく、偶然に近い出会いの集まりです。その中で、「気が合う」「わかり合える」ということは、本当はとても貴重なことなのかもしれません。

学校では、「ぼく」と違う誰かと、どう関わっていくかを学ぶことが大切になります。「ぼく」を探すことは、自分を知ること。そして、自分とは違う人の存在に気づくことです。相手の思いを想像しながら、自分の思いも大切にすること。その力は、人と共に生きていく上で欠かせません。

例えば、インターネットは、知りたいことをすぐに調べられる、とても便利なものです。一方で、自分の考えに近い情報が集まるよう仕組みられたシステムになっています。自分では意見を広く見ているつもりでも、気づけば似た考えに囲まれているのです。

だからこそ、学校があります。

学校には、自分とは違う考えの友達が必ずいます。違いに出会い、ときに悩み、ときに折り合いをつけながら過ごすことそのものに、学校で学ぶ大きな意味があるのだと思います。

こどもたちが、自分らしさを大切にしながら、自分とは違う誰かも大切にできるように。そんな力を、日々の学校生活の中で育んでいきたいと思っています。

三郷市が「まごころ支援室」をはじめました

学校における様々な相談について、一元的に受け止め、整理し、関係機関と連携して解決につなげるため、「まごころ支援室」を開設します。学校問題相談電話窓口として、概要の聞き取りや事実整理を行い、適切な部署につなげていくものです。 まごころ支援室 Tel 048-930-7787

5月16日 PTA サークル活動環境整備



お休みの日に関わらず、多くの保護者の方々、子供たちそして教職員が集まり、戸ヶ崎小の環境整備を行いました。エアコンフィルターの清掃、プール更衣室の清掃、除草作業等、普段なかなか手が回らないところの作業をしていただきました。おかげさまで、子供たちが、より潤いのある環境で過ごすことができるようになりました。

5月14日 交通安全教室



交通指導員の方に来ていただき、この日は1年生、3年生の子供たちに交通安全の指導をしていただきました。道路の安全なわたり方、自転車の安全な乗り方など、実技も交えて教えていただいたことが子供たちの心に響いたようでした。